

現存しない寺院

長沢山万蔵院	曹洞宗	十日市場	自得院へ統合
大滝山大宝院	真言宗	十日市場	廃寺
雲山東漸寺	臨済宗	夏狩	長慶寺へ統合
古城山大徳寺	天台宗	夏狩	廃寺
無量庵	天台宗	夏狩	廃寺
古城山清浄院	天台宗 後曹洞宗	鹿留	光照寺へ統合
宝照院	真言宗	鹿留	龍泉寺へ統合
宝絹寺	真言宗	鹿留	龍泉寺へ統合
境井山真境院	曹洞宗	境	広徳院へ統合
紫雲院	真言宗	境	廃寺
東光山医王堂	曹洞宗	下谷	廃寺
福寿院	曹洞宗	上谷	廃寺
甘露山正観寺	曹洞宗	川棚	廃寺
古木山法龍庵	曹洞宗	法能	廃寺
桂光山誓願寺	臨済宗	中津森	桂林寺へ統合
源正庵	臨済宗	中津森	廃寺
瑠璃光山玉泉院	曹洞宗	中津森	廃寺
愛応山永徳寺	臨済宗	加畑	廃寺

南浮渡山無量寺 曹洞宗 大幡 福源院へ統合
 大慈山東照寺 曹洞宗 朝日馬場 本光寺へ統合

宗派別地区別寺院一覧表

地区別 宗派別	東桂地区	谷村地区	宝地区	禾生地区	盛里地区	計
曹洞宗	11 (2)	8 (4)	4 (2)	1 (0)	2 (1)	26 (9)
臨済宗	1 (1)	0 (0)	1 (3)	5 (0)	1 (0)	8 (4)
浄土宗	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)
浄土真宗	0 (0)	4 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	7 (0)
日蓮宗	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
天台宗	0 (3)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (3)
真言宗	1 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (4)
計	13 (10)	18 (4)	15 (5)	10 (0)	3 (1)	49 (20)

()内は現存しない寺院数を示す

あとがき

河口智慮

「寺は歴史を語る」といわれておりますが、その長い歴史の中で、わたくしたちの祖先の生活の中心をなしてきたのが信仰であります。

信仰には俗信、迷信など民間信仰によるものと、仏教その他の宗教宗派によるものがありますが、その分布状態を信仰集団及び信仰的行為の関連において調査することは意義深いものがあると思います。

わたくしたちは、これら有形無形に伝承されてきた信仰による民族的文化財について、市内における寺院の現況を調査し、記録し、集成することを発願して、次のような調査項目を設定し、市内各寺院住職のご協力を得てその調査報告書に基づき寺記の集録をいたしました。

調査項目

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1 所在地 | 8 講社又は末社 |
| 2 宗派及び本末関係 | 9 古器、什器、宝物、 |
| 3 山号と寺号 | 10 恒例の宗教行事 |
| 4 本尊由緒雨び合祀仏 | 11 民間信仰による行事、縁日、 |
| 5 興起縁由 | 12 伝説、民話(その寺にまつわるもの) |
| 6 開山履歴 | 13 信仰に関する用具等 |
| 7 歴代住職 | |

以上の各調査項目の内容を通して、各地域の各時代を生きてこられた祖先の生活が、宗教によって支えられ、村落における基本的信仰集団の在り方などについて知ることができました。そしてここに寺記集成を発願して以来二年八カ月の歳月を費し、第一集として「都留市寺記」の刊行をみるに至ったのであります。

この寺記刊行に当り、各寺院住職の方々、その他関係者各位のご理解とご協力、及び尊い資料を提供して頂きました方々また写真撮影に特にご尽力下さいました中村委員に対し厚く感謝の意を表します。

参考資料

甲斐国志

社寺記

各寺院由緒及び過去帳

各寺院住職の調査報告書（これを尊重した）

各寺院住職の説話

各地域の古老の説話

郷土誌等。

都留市寺記調査者名簿

調査員

都留市文化財審議会

羽田 富士男
河口 智慮
杉本 祺明
小俣 次郎
中村 光太郎

調査協力員

都留市文化財審議会

奥 隆行
兼松 昇
内藤 恭義
渡辺 長重
窪田 薫

都留市教育委員会事務局

棚本 安男
山本 義典
石村 修